

機械式駐車設備 納入事例 施主インタビュー

道頓堀のゲストステーションを楽しく演出  
DOBOX(デイオボックス)  
世界的な繁華街、道頓堀の玄関口を  
預かるコンシェルジュ

芝居と食い倒れの街、道頓堀。時代は流れても人々の活気と喧嘩は変わらない。この街を愛し、この街に生きる若者を暖かく見つめる。

DOBOX(デイオボックス)のオーナー、岡嶋隆光氏にその心意気を伺った。

このたび、DOBOXが完成しました。乗用大型車46台、ハイルフ車26台、合計72台を収容するパーキングタワーと地上3階建ての商業テナントビルです。

私の父には先見の明があったのだと思います。「これからは車の時代になる」と言っていて、父が駐車場経営に乗り出したのは、昭和27〜8年の頃だったと記憶しています。

当時はまだ、リヤカーと自転車が圧倒的な時代で、駐車場とはいえ、お預かり



(株)オフィス道頓堀代表 岡嶋隆光氏



後方の黒い建物はELパーキング/将来はこの壁面に「大型スクリーン」を貼って屋上シネマに」と

している車の台数はたった3台でした。もともと、道頓堀は豊臣秀吉の命を受けて、安井道頓が河川工事の費用を捻出するため、大阪中の芝居小屋を一ヶ所に集めたところから、芝居の街として栄えるようになりました。浪花五座(弁天座、朝日座、角座、中座、浪花座(竹本座))といえは、当時は日本演劇界の西の雄、ブロードウェイのような賑わいだったのではないかと思います。芝居に付随する飲食業も繁盛し、「食い倒れの街」として歓楽街が形成されてきた歴史があります。

しかも、このビルの土地は当時の東槽の跡地です。槽には新しい芝居がかかる度に垂れ幕が下がり、見張りや案内所を兼ねたようなところだったのです。

父は愛着を込めて「駐車場といつても、いわば履物をお預かりする下足番のよ

うなものだ」と言っていました。

当時から紀州街道(現堺筋)に向いているため、近畿一円から遊びに来るお客様の車をお預かりして、道頓堀、千日前の遊び場に御案内したものです。

今や、大阪の盛り場の中心は御堂筋に移ってしまっただ観がありますが、私にとって故郷の道頓堀を昔の賑わいのある街にしたいのです。

ですから、このビルもいわば道頓堀の下足番にしたいのです。

ビルの1階、駐車走行口の部分をあえて広いオープンスペースにしたのも、地域の若い人たちにどんどん活用してもらいたいという意図があったこと。天井には展示パネルや照明を取り付けられるようにしてありますので、ライブハウスやイベントスペースとして大いに使ってもらいたいです。

若者が楽しんで活気がつければ、街も元気になります。それはビル全体の繁栄にもつながると思います。

パーキングタワーの部分をマットブラック

スピーディーな入出庫を実現する  
ELパーキングを導入

手前部分のビルの壁面にも、実はこだわりがあります。テーマは「温故知新」。日本には古来より、風土にあった良い

建築法がありました。

奈良の正倉院にみる校倉造りや、芝居の街道道頓堀を象徴する芝居小屋をイ



マットブラックに仕上げられたELパーキング



ELパーキングの入出庫口は段差が少ないため、車の乗降がしやすい

クに仕上げたのも、ゆくゆくはこのタワー壁面にスクリーンを貼り、このビルの屋上をシアターにしたいと思っただから。五〇年近く駐車場を営んできました。駐車場タワーというのは「見せる」か「消すか」ということが分かっていた。当初は「見せる」方向に行きたくて、総硝子張りのタワーを計画しました。外からお客様が愛車のフォルムを見られたら楽しいのではないかと思っただけです。ところが経費がかかり過ぎると、危険物取り扱いの側面もあって、硝子張りでは許可がおりない。そこで、見せられないなら消そうということになりました。黒く塗ってしまったら、タワーは夜の闇に溶け込んで見えなくなりますが。威圧感がなくなるのです。

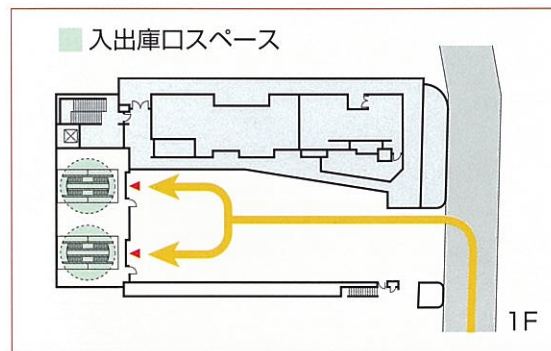
駐車場が御案内するスタッフも女性を中心に揃えました。優しい笑顔と明るい対応で、ゲストに快く駐車場を利用していただきたいのです。地域のガイドもできる、ホテルのフロントやコンシェルジュのような働きを期待したいですね。

私はこのELパーキングに「わずかな時間でゲストの愛車をベッドイン」というキャッチをつけてきていただきました。垂直、水平だけの単純な移動で、車を段ベッドに寝かし付けるようなイメージです。複雑な動きがないというところは、それだけ速くて、安全だということだと思います。

どなたにもご満足いただける設備だと自負しておりますので、大阪の道頓堀にいらした際には、ぜひ一度道頓堀のデイオパーキングに、お車を預らせてください。



道頓堀の案内係でもあるパーキングレディ



**建築概要・建築規模**

建築主	：(株)オフィス道頓堀
構造規模	：地上3階
建築面積	：819.52㎡
延床面積	：2,904.53㎡
設計・監理	：(株)竹中工務店 大阪本店
施工	：(株)竹中工務店 大阪本店

**駐車設備概要**

駐車設備	：ニッセイ・ELパーキング
機種	：エレベータ方式(フォーク式)
形式	：EL・UST-40×1 EL・ULSRT-32×1
収容台数	：合計72台(乗用大型車用46台 ハイルフ車用26台)



「街の広場に活用して貰いたい」と吊り照明や展示トランス設備のついた広い走行口



**PROFILE**

岡嶋隆光(おかじま たかみつ)  
(株)オフィス道頓堀 代表取締役  
DO BOXオーナー。

1956年大阪市中央区道頓堀に生まれる。福井大学卒業。駐車場、貸事務所、貸店舗を営む傍ら、道頓堀商店街の役員として街の活性化に取り組み活躍中。

※コンシェルジュ  
フランス語で「守衛」「番」「鍵番」などの意味がある。ヨーロッパのホテルで、ゲストに鍵を渡していたのが起源。現在ではホテルでゲストのリクエストに応え、交通機関や劇場の手配など、あらゆる案内を助める役目になっている。

※安井道頓 1533〜1615年。安井定成のこと。道頓は別髪後の呼び名。1612年(慶長17年)豊臣氏の呼び掛けに応え、私財を投げ打って、道頓堀の工事に取り組む。完成前に大阪夏の陣で戦死したが、後継者が引き継いで完成。後の功績をたたえる碑が日本橋の北詰に建っている。